

質問日	令和3年12月1日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	4	会派名	自由民主党浜松	議席番号	40	氏名	波多野 亘
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 商店街について	<p>商店街は、地域のにぎわいの創出や夏祭りなどのイベントによる地域交流やコミュニティーの形成、消防団活動への協力や子供の見守り、街路灯設置による安全・安心に貢献してきたが、ごく一部の商店街を除き衰退が止まらない。</p> <p>そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 商店街の団体数、加入者数の推移を伺う。</p> <p>(2) 商店街の活性化に関する条例の実績を伺う。併せて、先進事例について伺う。</p> <p>(3) 解散目前の商店街の街路灯についての考えを伺う。併せて、撤去費補助の考えを伺う。</p>					藤野産業部長	
2 自治会の負担軽減について	<p>コロナ禍で、地域の行事等が中止とはなったが自治会の負担感は減っているように見えない。逆に行事開催の難しい判断や、コロナ禍による退会相談や会費徴収へのクレームも出て苦労が絶えない。</p> <p>そこで、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 加入率の推移について伺う。</p> <p>(2) 自治会の活性化策について伺う。</p> <p>(3) 負担軽減の方策について伺う。また、コロナ禍での対応を参考にしたのか伺う。</p> <p>(4) 学校運営協議会と夢をはぐくむ学校づくり推進協議会の統合ができないか考えを伺う。</p>					奥家市民部長 〃 〃 田中学校教育部長	
3 協働センター、サービスセンターの見直しについて	<p>協働センター(旧公民館)は、社会教育施設として概ね中学校区ごとに設置されてきた。そして、市民サービス向上の観点から公民館に市民サービスセンターが設置された。区の再編の議論とともに協働センター、市民サービスセンターについても現状理解が進み課題が判明したと感じる。そこで、協働センター、サービスセンターの適正配置とサービスセンター業務の適正化、名称等についての考えを伺う。</p>					奥家市民部長	
4 たばこ税について	<p>コロナ禍をはじめとした社会不安がある中、企業業績による税収に不安が付きまとう。そういう中、市たばこ税は微減ではあるが堅調といえる。そして、昨年来、総務省より各財政担当宛に事務連絡が発出されている。</p> <p>そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 事務連絡に基づき、たばこ税の活用を検討したのか伺う。</p> <p>(2) 本年10月、たばこ価格が消費税増税の年も併せ4年</p>					森本財務部長 〃	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>連続値上げとなったが、税込見通しを伺う。また、たばこ税収をどう総括しているのか伺う。</p> <p>(3) 昨年度、浜松たばこ販売協同組合から要望が出されているが対応を伺う。併せて、吸い殻のポイ捨ても増えていると聞くので、例えば、JR浜松駅南口東側への箱型の喫煙所の設置について考えを伺う。</p>	藤野産業部長
5 ごみの意識改革について	<p>昨年7月、市環境審議会に家庭ごみの有料化について諮問がされ、本年10月答申が出された。有料化には様々な声があるが、未来を考えたとき、実施すべき施策と考える。</p> <p>ごみへの意識改革のよい機会と捉え、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 周知に併せた、ごみへの意識改革と啓発の方策について伺う。</p> <p>(2) ごみ出しルールの徹底について伺う。</p> <p>(3) ごみ集積所の苦情対応と、パトロール実施の強化について伺う。</p> <p>(4) ごみ袋取扱業者への周知について伺う。</p>	藤田環境部長
6 第41教育飛行隊移動後の環境整備について	<p>航空自衛隊の教育訓練体制を見直す一環から、本年10月、第41教育飛行隊が美保基地から浜松基地に移動となった。移動に当たって本市は、市民の意見を基に要望と併せ同意している。</p> <p>そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 飛行回数の現状について伺う。</p> <p>(2) 騒音測定や区域見直しに向けたスケジュールについて伺う。</p> <p>(3) 要望への対応状況と要望実現に向けた市の考えについて伺う。</p>	奥家市民部長